

報告レポート Vol.3 仕事と暮らしの両立フェスタ

2025.2.24

2024

開催主旨

「仕事と暮らしの両立フェスタ」は、限られた時間の中で「仕事（＝働くこと）」と「暮らし（＝育児・介護・通院・趣味・キャリアアップなど）」の両立をめざす方や、両立に対して不安や課題を感じている方を対象に、自分に合った働き方や両立の方法を見つけることを目的としています。

仕事と暮らしを両立するためには、「働き方」を見直すことが不可欠です。今回のフェスタでは、「キャリアとリスクリング」に焦点を当て、自分自身がどのように働きたいのかを考え、理想の働き方を実現するために必要な知識や手段を知る機会となるよう企画しました。

概要

日時：2025年2月24日（月）10:00～16:00

場所：エミフルMASAKIグリーンコート

出展企業・団体数：5

東温市歯科医師会／キャリア形成・リスクリング支援センター
デジタルハリウッドSTUDIO松山／（株）寺小屋グループ
愛媛大学デジタル情報人材育成機構

来場者数：約650人



当日スケジュール

		セミナー実施団体・企業	セミナーテーマ
10:00	ブースオープン		
10:20～11:00	セミナー 1	キャリア形成・リスクリング支援センター	ジョブ・カードを使って自分らしく働くためのお手伝い ～ポジティブマインド～
11:20～12:00	セミナー 2	株式会社tenziku	愛媛から始める「自分らしい」キャリア革命 - 自己変革への第一歩
13:20～14:00	セミナー 3	東温市歯科医師会	「歯科クリニックにおける、仕事と暮らしの両立について」 ～歯科医と歯科衛生士が楽しくはたらくために～
14:20～15:00	セミナー 4	NPO団体 えひめジョリファムネット	『私らしい』キャリアと暮らしを叶える！ ～ジョリファム式 自分らしい働き方を見つけよう～
16:00	ブース終了		

もやもやの木に集まった声

1. 家族のケア・家事・育児について

- ・ 子育てや家事は女性が担うべきという固定観念への疑問。
- ・ 介護と仕事の両立への不安、正社員から離れることへの葛藤。

1. 仕事の悩み

- ・ 世代間ギャップや人間関係の難しさ。
- ・ 業務の偏りや正社員登用の壁への不満。

2. 子どものこと

- ・ 勉強についていけないことへの不安。
- ・ 子どもとの進路の話ができていない。

3. 子ども（小中学生）の悩み

- ・ 親との進路相談での衝突。
- ・ 校則や先輩との関係への不満。

4. 経済的な不安

- ・ ひとり親家庭としての経済的不安。
- ・ 将来に対する生活の見通しが持てない。

5. 社会問題・地域について

- ・ 育休中の孤立感と女性の社会復帰の難しさ。
- ・ 若者の県外流出や地方の衰退に対する懸念。

6. その他の悩み

- ・ 夫婦間のすれ違いや会話不足。
- ・ 生理痛のつらさや、周囲の理解の乏しさ。



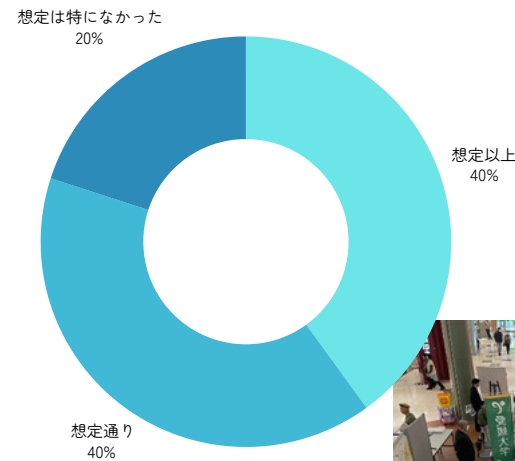
ボランティアの声

- ・ この取り組みが3年続いていることに対して、「継続していることが素晴らしい」との声もあり、地域に根づいた活動として評価されている様子がうかがえました。（社会人）
- ・ 地域のさまざまな世代の方と直接会話する中で、「仕事」と「暮らし」の両立に関するリアルな悩みや不安に触れることができ、**社会人としての準備に役立つ貴重な経験**となりました。（大学生）



出展企業・団体みなさまの声

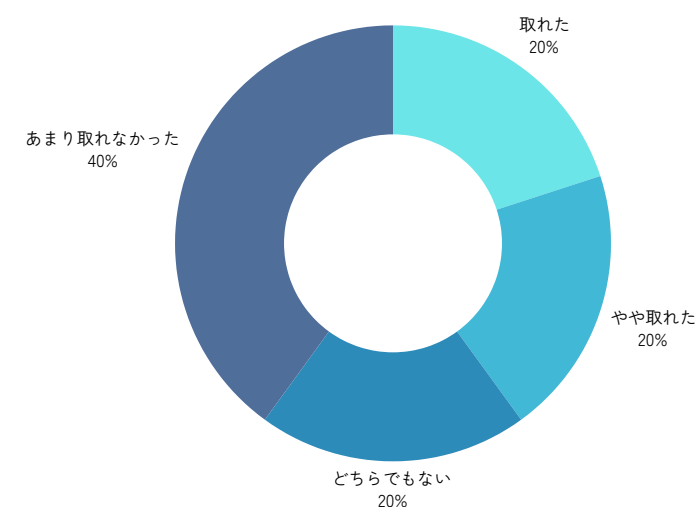
1. ブースでの見込み集客数は達成しましたか？



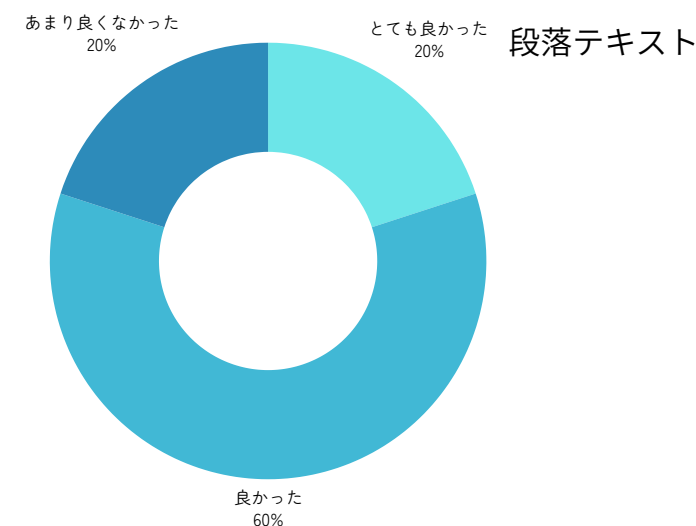
2. ブースに来た人数を教えてください。

50~100名 4社
250~300名 1社

3. 他のブースの方とコミュニケーションは取れましたか？



4. 今回の会場（エミフルMASAKI）はいかがでしたか？



4-1. その理由をお聞かせください。

- ファミリー層の来場が多く、じっくり話を聞いてもらう時間は限られていた。
- 商業施設での実施は、多くの人の目に留まるという点で効果的だった。
- 会場の広さや設備は、広すぎず狭すぎず、一体感のある空間だった。
- グリーンコートは出入口やトイレが近く、動線の良さが感じられた。
- 人通りが多く、立ち寄る来場者も多かった。



5. 改めて「仕事と暮らしの両立」に皆さまのサービスや商品、あるいは存在がどのように貢献できると思いますか？

- リスキリングによるキャリアチェンジやキャリアアップは、**所得向上やキャリアの安定につながり、暮らしの安定にも寄与する**と考えている。
- キャリアに迷う方の相談窓口として、今すぐ支援が必要でない人にも事業を知ってもらうことが、将来的な支援につながると感じている。
- 共働き家庭が増える中、子どもの学習履歴が家庭での会話のきっかけや**親子のコミュニケーションの一助になる**と実感している。
- デジタルスキルの習得を通じて**働き方の選択肢が広がるだけでなく、地域のハブとして教育機関や民間事業者と連携する可能性**を期待している。

6. 今回のイベントで良かった点があれば教えてください。

- リスキリング講座の存在を知らない層に情報を届けることができた。
- 運営スタッフが積極的にブースやセミナーへの誘導を行ってくれたおかげで、多くの方にPRすることができた。**出展者同士の交流の機会もあり**、感謝している。
- もやもやコンシェルジュが各ブースの内容を把握し、来場者に適切に案内してくれたことで、イベント全体の雰囲気が高まり、満足度の向上につながった。**
- コンシェルジュによる案内のおかげで、**これまで知られていなかった団体名や活動を知ってもらう良いきっかけになった。**関心を示す来場者もあり、今後の展開につながる可能性を感じている。
- 会場の規模が程よく、ブースとセミナー会場が近接していたことで、来場者の移動がスムーズだった。

「仕事と暮らしの両立フェスタ」は2030年のSDGs目標達成まで続きます！

NPO法人ワークライフ・コラボ

〒790-0823 松山市清水町1丁目9-5
ドゥマंकレール1F

☎ 090-5273-1510

✉ wlc-contact@worcolla.com

🌐 <https://worklife-festa.hp.peraichi.com/>



人と企業と地域をつなぐ。
WORK LIFE COLLABO

